

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 1月30日 (木)

2 確認箇所

伐採木一時保管エリアM (図1)

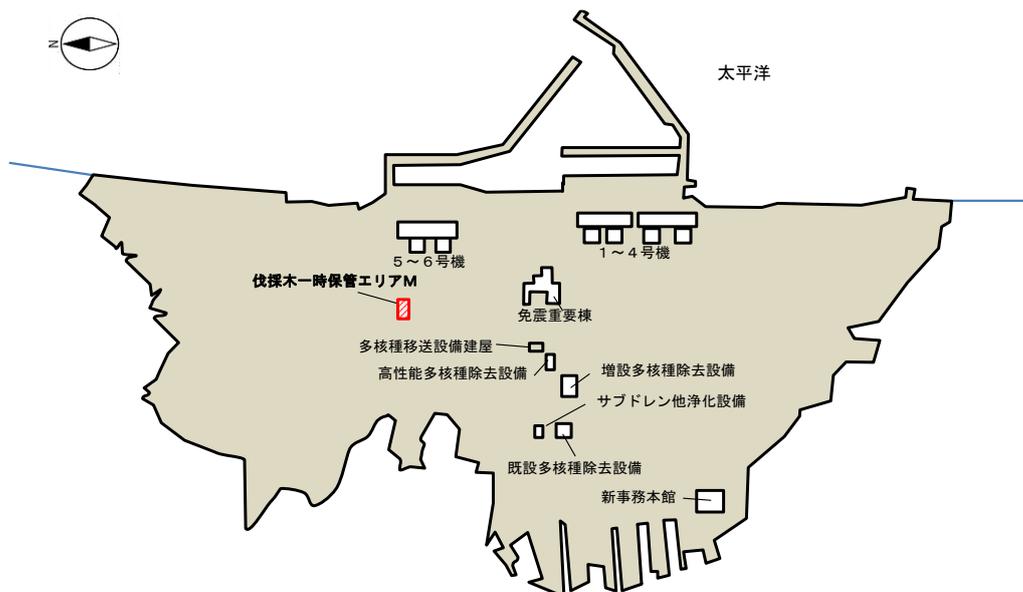
3 確認項目

伐採木一時保管エリアMの現況確認

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所事故後に構内の敷地造成等により発生した伐採木は、構内の伐採木一時保管エリア（以下「エリア」と言う。）で一時保管されている。増設雑固体廃棄物焼却設備の設置以降は、焼却処理のため、チップ化処理が進められていることから、エリアMの最新の状況について確認を行った。（前回確認：[令和6年2月5日](#)）

- ・ 確認時、チップ化処理用の重機等は配備されておらず作業は行われていなかった。
- ・ 伐採木は、水分を取り、乾燥した状態で木幹・枝等が2～3mサイズに切断され保管されていた。（写真1）
- ・ 火災対策のための消火用タンク等が配備されていた。（写真2）
- ・ 伐採木の搬出が終わったエリア内北側には、隣接する道路で実施されている2号機燃料取扱設備輸送に伴う橋梁補強工事に使用する資材や重機等が仮置きされていた。（写真3）
- ・ 確認した範囲内では、伐採木のエリア外への飛散・流出はなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
伐採木一時保管エリアMの状況
前回（令和6年2月5日撮影）



(写真1-2)
伐採木一時保管エリアMの状況①
今回（令和7年1月30日撮影）



(写真1-3)
伐採木一時保管エリアMの状況②



(写真2)
消火用タンクの設置状況



(写真3)
隣接道路で行われている2号機燃料
取扱設備輸送に伴う橋梁補強工事に
使用する資材や重機等

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。